

国語採点基準

【注意】この採点基準以外に問題がおこったときは、各学校で基準を設けて採点すること。

問題番号	正答 [例]	採点上の注意	配点	
一	1	① こが	語として採点する。	各1
		② すなお		
		③ むとんちゃく		
	2	ウ		2
	3	どうしてもきみ子に会いたい (13字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	2
	4	Ⅱ 頬が熱くなった (7字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	2
		Ⅲ エ		2
		Ⅳ 啓吉と別れなければならなかったこと (17字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	3
	5	ウ		3
	二	1	① 異	語として採点する。
② 減				
2		イ		2
3		おもしろさ		2
4		c 演出による改変	全部合っているものだけを正答とする。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	4
		d 演技による改変		
		e 作者の書いたものが多様な改変を経て観客に伝わる。(24字)		
5		Ⅰ 状況などが地の文でこと細かに説明されていないので、自由に解釈できる部分が多いということ (43字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	3
		Ⅱ どのように音声化していくか (13字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	2

問題番号	正答 [例]	採点上の注意	配点
三	1	ア	2
	2	ひろう	1
	3	Ⅰ 詠む物の珍しさや言葉の新しさ (14字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。
Ⅱ 鳴いているときの姿 (9字)			
四	1	エ	2
	2	<p>【理由A】 読書をしなない人はその理由の一つとして、本を読まなくても不便はないということを挙げています。しかし、読書をする人の多くは感動したり楽しんだりすることを読書の動機に挙げています。読書から得られる感動や楽しみは、心を豊かにし、生活を充実したものにしてくれます。読書の意義はそうしたところにもあるのです。 皆さんも中学校生活を充実させるために、まずは昼休憩などに図書室に立ち寄って本を読み、自分の心に響く一冊を見付けてみてください。(192字)</p> <p>【理由B】 読書をしなない人はその理由の一つとして、読みたい本がない・よい本が分からないということを挙げています。そういう人は、好きな教科や所属する部活など、自分の興味・関心のあることに関する本から読んでみるとよいと思います。実際によく本を読んでいる人の多くは、自分の好きなジャンルの本を読んでいるようです。 図書委員会では、毎月「図書だより」でジャンルごとにおすすめ本を紹介しているので、それを参考に読む本を選んでみるのもよいと思います。(194字)</p>	<p>次の①～③を満たしていれば、内容は異なってもよい。</p> <p>① 【資料2】の「読書をしなない理由」のA・Bのうち、どちらか1つの理由を取り上げ、本を読むようにするためのアドバイスを書いている。</p> <p>② 【資料3】【資料4】のどちらかまたは両方の資料の内容を踏まえて書いている。</p> <p>③ 解答用紙の書き出しの文章に続くように書き、内容に応じて段落を変え、200字以内で書いている。</p>